



週間情報



No.0730

発行日 令和7年8月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 消防実務講習会（警防）を開催

一般財団法人全国消防協会九州地区支部

一般財団法人全国消防協会九州地区支部では、令和7年7月25日（金）、鹿児島県鹿児島市（センテラスホール）において、消防実務講習会（警防）を開催しました。

当日は、開催地である鹿児島市消防局の斎藤局長からごあいさついただいた後、桜島火山防災研究所所長の井口正人氏を講師としてお招きし、「九州圏内における活火山の現状及び防災対策」と「桜島火山防災研究所の設立経緯及び研究内容」についてご講義いただきました。

当日は、聴講者から多数の質問があり、大変有意義な講習会となりました。

今後も、警防業務における質の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【挨拶の様子】



【講習会の様子】

訓 練

◆ 燃料補給訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和7年7月28日（月）、「大規模災害時における燃料提供等の協力に関する協定」を締結している小田急ハイウェイバス株式会社にご協力いただき、燃料補給訓練を実施しました。

この協定は、大規模災害時において、同社から燃料の提供、敷地・施設と什器などの貸出、プライベートスペース・トイレ・冷暖房などを完備したバスの活用、消防車両などの整備支援、災害・交通情報などを提供していただき、強力な地域密着型の後方支援体制が期待されています。

当日は、同社に出向し、実際に大型のはしご車を活用した燃料補給を行いました。

今後も、地域社会の安全・安心のため、地域との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 2機関と合同で水難救助連携訓練を実施

吉川松伏消防組合消防本部（埼玉）

吉川松伏消防組合消防本部では、令和7年7月29日（火）、管内を流れる江戸川流域において、隣接する野田市消防本部および埼玉県防災航空隊と合同で、水難救助連携訓練を実施しました。

この訓練は、2機関との情報共有の円滑化を図り、迅速な救助活動につなげることを目的とし実施したものです。

当日は、「要救助者4人が河川に流された。」との想定で、状況確認から応援部隊の要請、ドローンを活用した検索、防災ヘリコプターによる舟艇誘導および救出、傷病者引き継ぎまでを一連の流れで実施し、課題の抽出と共通認識を深めることができ、大変効果的な訓練となりました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、市町民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【ホイスト救出の様子】



【訓練終了後の記念撮影】

◆ 「FFS（ファイヤーファイターサバイバル）伝達講習会」を実施

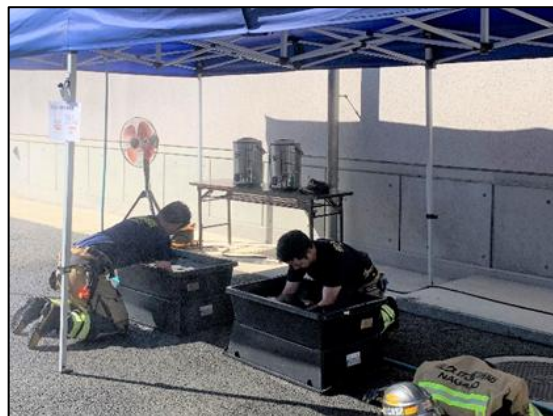
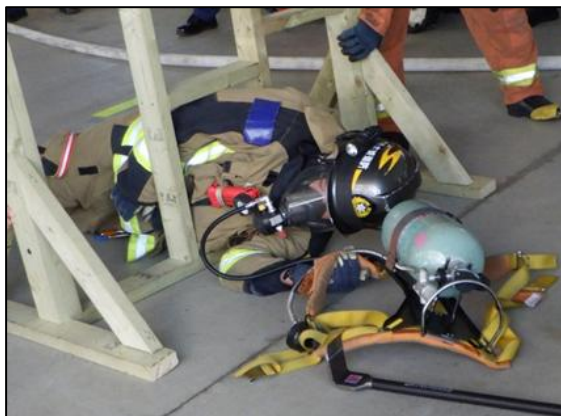
佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和7年7月29日（火）、「FFS（ファイヤーファイターサバイバル）伝達講習会」を実施しました。

当日は、大阪府貝塚市で開催されたFFS講習を受講した職員が講師となり、自分の限界を知るとともに、火災現場での窮地を脱出するための技術や冷静に対応するための知識を学ぶことができました。

併せて、厳しい暑熱環境下で活動する隊員の熱中症対策として、エイドステーション（熱中症指数計の活用・ミストファン冷却・手掌前腕冷却）の検証を行い、現場活動などでの有効性を実感することができました。

今後も、暑熱環境の中でも訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【講習会の様子】

研 修

◆ 「消防職員に対する公務執行妨害行為に関する法律・実務対応」研修を実施

苫小牧市消防本部（北海道）

苫小牧市消防本部では、令和7年7月24日（木）、「消防職員に対する公務執行妨害行為に関する法律・実務対応」研修を実施しました。

この研修は、職務中に発生した公務執行妨害への適切な対応に関する知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、市役所職員や近隣消防本部の職員約70人が受講し、藤田・荒木・村本法律事務所の弁護士である藤田美津夫先生を講師としてお招きし、公務執行妨害の解説や消防現場の実情を踏まえた実務対応について、分かりやすい内容でご講演いただきました。

また、受講者から現場活動時に経験した事案や警察署からの事情聴取への対応方法などについて、多くの質疑があり、大変貴重な研修となりました。

今後も、安全と正当な公務遂行のため、本研修で得た知識を業務に活用し、適切に対応してまいります。



【研修の様子】

◆ 「共創・広報研修会」を開催

由利本荘市消防本部（秋田）

由利本荘市消防本部では、令和7年7月25日（金）、当消防本部と近隣消防本部の消防職員を対象に、「共創・広報研修」を実施しました。

当日は、横浜市消防局総務部企画課担当係長の御所協佑介氏を講師としてお招きし、民間企業との連携により、消防のみでは実現できなかった企画や成果物を生み出すなどの取り組みについて、ご講演いただきました。

本研修会を通じて、これまでのように消防車両などは災害対応のためだけではなく、より市民に還元できるような使い方を考える必要があることや、民間企業との連携において両者が有益となることを念頭に置いて企画する必要性を認識しました。

今後は、市場における消防の価値を民間企業に理解していただくとともに、共創・広報のチャレンジに努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「第41回諏訪地域メディカルコントロール協議会研修会」を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和7年7月25日（金）、「第41回諏訪地域メディカルコントロール協議会研修会」を実施しました。

この研修会は、精神疾患に対する知識と対応能力の向上を図ること目的として実施したものです。

当日は、精神科に精通した当地域医療機関の医師を講師としてお招きし、「精神疾患の理解と対応」と題して、救急隊の活動に則した内容でご講義いただき、活発な質疑応答が行われ、大変有意義な研修会となりました。

今後は、本研修会で得た知識を、円滑な現場活動につなげ、圏域住民の負託に応えてまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 小学校において「水の事故を防ぐ勉強会」を開催

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和7年7月10日（木）、17日（木）の2日間、市内の小学校において、「水の事故を防ぐ勉強会」を開催しました。

当日は、万が一、池や河川に転落した場合に、慌てず浮いて呼吸をすることができる体勢や流れのある河川で体力を使わず救助を待つイカ泳ぎ（エレメンタリーバックストローク）を指導し、「子供だけで池や河川に近づかないこと。」「泳いで助けにいかないこと。」「ライフジャケットを着用するだけで守ることができる命があること。」を広く周知することができました。

今後も、1人でも多くのかげがえのない「命」を守るため、普及活動に努めてまいります。



【勉強会の様子】

◆ 「消防職場体験」を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和7年7月23日（水）、八潮消防署において、消防官を目指す学生を対象に、「消防職場体験」を実施しました。

当日は、10人の学生が参加し、梯子車の乗車体験と防火衣を着装して放水体験を行ったほか、情報指令課、予防課、八潮消防署管理課の業務説明などを実施し、学生たちが好奇心に満ちた表情で真剣に取り組んでいる姿を見ることができました。

実施後のアンケートでは、「体験の内容がとてもよかったです。」「採用試験を受ける決意が固まりました。」「消防官にはさまざまな役割があり、1つ1つのチームの活躍があるからこそ、市民の方々が安心して暮らしているのだと思いました。」などの回答をいただくことができ、職員の励みとなりました。



【職場体験の様子】



【職場体験後の記念撮影】

◆ 広報などで活用する動画を作成しY o u T u b eに掲載

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和7年7月24日（木）、広報などで活用する消防職員の密着動画を作成し、豊田市の公式Y o u T u b eチャンネルに掲載しました。

この動画は、市民の皆さまに消防活動の重要性や消防行政の役割をより深く理解していただくとともに、将来の消防職員を目指す若者たちへの採用広報と職員のキャリア支援を図ることを目的として作成したものです。

動画内では、現場で活躍する消防隊員や救急隊員などの日常を追い、日々の訓練や緊急出動の様子などをリアルに描写しています。

今後も、職員のキャリア支援につなげ、将来的なキャリアパスを考える上でのヒントや気づきを得られる場として作成した動画を活用するとともに、職員密着動画による広報活動を継続してまいります。



【撮影の様子】



【Y o u T u b e サムネイル】

◆ おもちゃ花火教室および住宅防火・防災広報を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和7年7月25日（金）、おもちゃ花火教室および住宅防火・防災広報を実施しました。

この取り組みは、おもちゃ花火の正しい遊び方と住宅火災予防について広報することを目的として実施したものです。

当日は、管轄内の学童施設に通う児童など約50人が参加し、おもちゃ花火の正しい遊び方に関する〇×クイズを行ったほか、着衣着火した際の消火方法である「ストップ、ドロップ&ロール」と花火の正しい消費方法を体験していただきました。

また、令和7年9月1日（月）から始まる住宅防火・防災キャンペーンに併せて、紙芝居により住宅用火災警報器の点検方法などを説明した後に、実際の住宅用火災警報器に触れていただきました。



【花火の正しい消費方法の体験】



【住宅用火災警報器の点検方法の体験】

◆ 青少年育成事業に参加し消防広報を実施

滝川地区広域消防事務組合消防本部（北海道）

滝川地区広域消防事務組合消防本部では、令和7年7月26日（土）、一般社団法人芦別青年会議所が主催する青少年育成事業「体験型防災クイズラリー！〇×クイズに答えてカレーを食べよう！」に参加し、北海道開発局、陸上自衛隊、北海道警察本部、市総務防災課と当消防本部芦別消防署が合同で、消防広報を実施しました。

このイベントは、市内の小学生やその兄弟姉妹に防災への関心を高めてもらうとともに、地域防災力の向上を図ることを目的として、今回初めて開催されたものです。

当日は、市内の小学校体育館において、各防災体験コーナーが設けられ、当消防署では煙体験コーナーを屋外に設置し、煙の怖さや避難方法を学んでいただきました。

また、各機関が出題した全てのクイズに正解した参加者に対して、記念缶バッジを配布したほか、自衛隊の炊事車で調理されたカレーが振る舞われました。

今後も、さまざまなイベントにおいて啓発活動を行い、消防業務への理解を深めていただくとともに、防火・防災意識の向上に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 「救命士体験」を実施

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和7年7月26日（土）、27日（日）の2日間、北消防署において、親子を対象として救命士の仕事に特化した夏休みのイベント「救命士体験」を実施しました。

当日は、合計20組50人の親子が参加し、「夏休みの楽しい思い出づくり」をテーマとした会場を設営し、救命処置、搬送、救急車同乗、放水などさまざまな活動を体験していただきました。

また、イベントの最後には、記念撮影と特製のプレゼントを渡し、参加した子ども達が喜ぶ姿を見ることができました。

今年で5年目となるイベントを通じて、「あの夏のイベントがきっかけで消防士や救急救命士になりました。」との未来を期待し、参加者の皆さまと一緒に楽しむことができた、イベントとなりました。



【イベントの様子】

◆ 「138タワー」の階段駆け上がり訓練を実施

岐阜県消防学校（岐阜）

岐阜県消防学校では、令和7年7月18日（金）、消防職員総合教育（初任教育救急科）の教育訓練の一環として、愛知県一宮市にある国営木曽三川公園138タワーパークにご協力いただき、「138タワー」の階段駆け上がり訓練を実施しました。

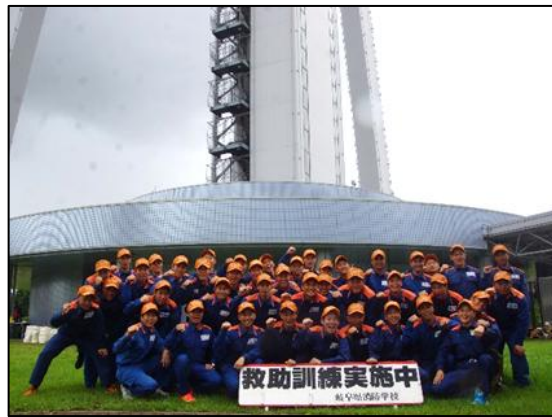
この訓練は、中高層建物火災を想定した消防活動を体験するとともに、任務遂行に必要な体力の向上を図ることを目的として、毎年実施しているもので、今回で15回目となります。

当日は、同総合教育第3期の学生124人（うち女性4人）が参加し、第1部では、防火衣を完全装着した状態で屋外階段513段（地上100m）を駆け上がり、個人タイムを計測しました。

また、第2部では、3～4人1組で編成した隊で空気呼吸器、65ミリホース、筒先、双口金具など約33kgの資機材搬送訓練を計測しながら行い、手すりにつかまりながらも必死に駆け上がる学生やゴール直後に倒れ込む学生もいるなか、全員が最後まで階段を駆け上がる事ができました。



【訓練の様子】



【訓練の記念撮影】

◆ 「オープンキャンパス2025」を開催

青森県消防学校（青森）

青森県消防学校では、令和7年7月30日（水）、青森県内の消防官を目指している学生と消防の仕事に関心のある学生を対象に、「オープンキャンパス2025」を開催しました。

当日は、73人が参加し、学校説明と見学を行った後、県内消防本部の紹介、消火・救急・救助などの各種体験、初任教育の消防訓練を見学していただきました。

参加者からは、「消防業務に一層興味を持ちました。」、「具体的な仕事の内容がわかりました。」などの感想を聞くことができ、消防官を目指す意欲を高めていただきました。



【オープンキャンパスの様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 第28回全国消防救助シンポジウムの開催について（通知）

（消防参第123号、令和7年7月25日）

消防庁国民保護・防災部参事官から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記シンポジウムを下記のとおり開催しますので、貴都道府県内の消防本部及び消防防災関係機関へ周知いただき、参加者及び事例研究発表希望者の取りまとめについて御配慮ください。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2025_07_25_sanjikan_150.pdf）に掲載されています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係
田中係長、井上事務官

TEL: 03-5253-7507

E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

（消防危第181号、令和7年7月30日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知されるようお願いいたします。

本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/75f6bdd29a3fdcf7329387dd496097edeabdbfac.pdf>）に掲載されています。

（問い合わせ先）

消防庁危険物保安室

担当：羽田野、三宅、小澤、宇野、中山
根本、滝澤、小川

TEL : 03-5253-7524

◆ 閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令等に係る運用について（通知）

（消防予第 331 号、令和 7 年 7 月 30 日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令等について」（令和 7 年 7 月 30 日付け消防予第 202 号）により、閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令（令和 7 年総務省令第 73 号）等の公布について通知したところですが、スプリンクラー設備及び動力消防ポンプ設備に関し、下記のとおり今般の改正に係る運用上の留意事項を通知します。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250730_yobou_02.pdf）に掲載されています。

（問い合わせ先）
予防課設備係
担当：明田、関、高橋
TEL：03-5253-7523

◆ 南海トラフ地震防災対策推進計画作成例等の送付について（通知）

（府政防第 1130 号、消防災第 119 号、令和 7 年 7 月 31 日）

内閣政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）、消防庁国民保護・防災部防災課長から関係都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成 14 年法律第 92 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、南海トラフ地震防災対策推進地域として指定された地域に係る都道府県及び市町村の地方防災会議は、同法第 5 条第 2 項の規定に基づいて、南海トラフ地震に伴い発生する津波からの防護、円滑な避難の確保及び迅速な救助に関する事項等について、地域防災計画に「南海トラフ地震防災対策推進計画」（以下「推進計画」という。）を定めるように努めなければならないこととされています。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/ee8e62645c525d2e8f66371d1c67fca3ac925dc0.pdf>）に掲載されています。

【本件問合せ先】

担当：内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付
渡邊、神成、室賀、森谷、瀬川

電話：03-5797-7945（直通）

E-mail：trench_earthquake.p3w@cao.go.jp

担当：消防庁国民保護・防災部防災課

木村（聖）、木村（将）、三原、青木

電話：03-5253-7525（直通）

E-mail：sintai@soumu.go.jp

報道発表

◆ 閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募の結果及び改正省令等の公布

（令和7年7月30日、消防庁）

閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等の内容について、令和7年4月5日（土）から令和7年5月9日（金）までの間、意見を公募したところ、4件の意見の提出がありました。この結果を踏まえて、本日、「閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令」等を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250730_yobou_1.pdf）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課 高木補佐、松下

TEL 03-5253-7523（直通）

MAIL yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆ 第73回全国消防技術者会議の開催について

消防庁消防大学校消防研究センター

消防庁消防大学校消防研究センターでは、消防に関わる全国の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発などの成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しています。

今年度は、下記のとおり開催する予定です。詳細については、当センターのホームページでお知らせします。皆さまのご参加をお待ちしております。

記

1 開催日

令和7年11月20日（木）、21日（金）

2 場所

三鷹市公会堂（東京都三鷹市野崎1-1-1）

※会場での講演・発表のうち可能なものは、消防研究センターのホームページから後日配信する予定です。

※前回の発表動画などは、以下のページからご視聴いただけます。

https://nrifd.fdma.go.jp/public_info/gijutsusha_kaigi/gijutsusha_kaigi_72th/haishin.html



【前回の発表動画の二次元コード】

3 定員

1日目500人、2日目550人（予定）

4 参加費

無料

5 内容

(1) 11月20日（木）

■特別講演

- ・講師：家田 仁 特別教授（政策研究大学院大学）
- ・演題：「能登半島地震や八潮陥没事故を踏まえた非常時のインフラ機能と緊急活動」（仮題）

■「令和7年度消防防災科学技術賞」の表彰式および受賞者による発表

(2) 11月21日（金）

■「令和7年度消防防災科学技術賞」の受賞者による発表

■第28回消防防災研究講演会

- ・テーマ「岩手県大船渡市における林野火災」（仮題）

6 プログラムおよび参加申し込み

当センターのホームページ（<https://nrifd.fdma.go.jp/>）をご覧ください。

問い合わせ先

消防庁消防大学校 消防研究センター 研究企画部
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4-35-3
TEL:0422-44-8331
E-mail:73_gijutsusha@fri.go.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。